

親子でボランティア活動に参加してみませんか？

三陸こごかなネットでは「災害後の暮らしを伝え続ける活動」の一貫として、被災各地の清掃ボランティア活動や各種復興イベントのお手伝い等への参加をコーディネートさせて頂いております。まずはお気軽に事務局までご相談ください。【事務局E mail】kn.nakayama@dream.jp（中山）

※活動場所は宮城県石巻市内を予定しています。

経緯・目的

大震災を目の当たりにした子供達は、どんなに元気に振る舞っていようと心にどんな傷を負っているか分かりません。被災地で子育てをする親御さんからは、未だ「震災のことは、できるだけ子供達に思い出させないようにしている…」等といった声が聞かれるように、大震災を伝える映像記録が子供達の恐怖や不安を煽る恐れがあります。それは、直接災害を目にしていない子供にも同様のことが考えられますので、幼い子供達への「伝承」活動には様々な配慮が必要となります。「親子ボランティア活動」は、その一端を担います。

成長過程の子供達の心情に配慮しながらも、災害を乗り越える日々の暮らし・体験を伝え続けるために。私たちは、被災地ボランティア活動や様々な福祉活動を通じ「楽しく・おもしろく」子供達が被災地の「今」を体感する機会を通して、防災や減災にかかわる「気付き」や「感性」を惹き出していこうと考えます。

参加費用：無料（現地まで送迎が必要な場合は、親子1組につき500円程度ご請求させていただきます）。

※ボランティア保険には加入致しません（各自ご検討ください）。

親子ボランティア活動の様子

【写真：津浪被災地区ゴミ拾い】

奇麗なお花とお菓子がお供えしてある場所を見つけると、「ここにもおうちがあったんだね」としゃがみ込んでそっと手を合わせる子供も見られます。大津波が襲来した様子に直接触れることなく、子ども達は被災地の過去や今を心と身体で感じ取っていくことができます。それを誇らしげに親御さんへ伝える姿は、何とも心強く、きっと未来に繋がっていくものと感じています。



子供達を中心に“分別”もしっかり行います。



【写真：デイサービスのボランティア活動】

災害が発生したら真っ先に、お年寄りや身体が不自由な人に対し、優しく手を差し伸べることができる大人になって欲しい。…そんな期待に応えるよう、子供達がリハビリ中のお年寄りを励まし、周囲を和ませてくれます。災害被災地におけるボランティア活動に欠かせない“奉仕の心”を養います。